

I 学級活動・校務での活用

(2) クラス内の連絡等 (Classroom)

テ ー マ	①休校等の連絡 ②学級通信等の配布 (Classroom)
ね ら い	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリームにて、休校等の連絡ができる ・ストリームにて、学級通信等の配布ができる
所要時間	約 40 分
準 備 物	<ul style="list-style-type: none"> ①各受講者の Google Workspace のアカウント ②タブレット端末もしくは PC 端末 (受講者 1 人 1 台) ③プロジェクト等への表示用 PC (タブレット) 端末 1 台 ④受講者 4 名程度の班編制 (当日でもよい) ⑤学級通信等の配布物 (データ)
備 考	<p>・ICT 活用指導カステップアッププログラムの動画 ※該当部分を視聴した後、動画を止めて演習を行う。 (ステップ 1) classroom I Classroom の起動とクラスの作成 (ステップ 2) classroom III 児童生徒、保護者への連絡・案内の送付</p> <p>・学級通信 (例)</p> <p>・研修の進行例 3～4 は、①休校等の連絡、5～6 は、②学級通信等の配布となります。必要に応じて、どちらかを省略して研修を行うことができます。</p> <p>・クラス作成のポイント (※「1 (1) クラスの作成と利用」で作成したクラスを使用してもよい) 4 人班の場合、教師 2 名、児童生徒 2 名のクラスを各自で作成する。なお、作成者は教師として自動的に登録される。 教師の画面で操作手順を確認するとともに、児童生徒の画面を確認することで、授業中の児童生徒の端末の操作指導やトラブル対応をスムーズにできるようにする。なお、表示するクラスの変更は、画面左上の Google Classroom ロゴの左隣「三」(メインメニュー) のクラスで行うことができる。 ※他の研修パッケージでもこのようにして教師の操作や児童生徒の操作を確認する。</p> <p>・児童生徒、保護者への連絡・案内の送付 児童生徒に配布し、児童生徒から保護者に連絡することを想定しているが、保護者の個人メールアドレスを登録することで、保護者が各々の端末で一定期間毎 (毎日、毎週末など) に課題提出期限やストリームの連絡内容を確認することができる。</p>

【研修の進行例】

研修の流れ	時間	内 容
1 研修の流れの確認	1分	・研修の流れを確認する。
2 Google へのログイン Google Classroom のサイトを を開き、クラスを選ぶ	4分	・各受講者端末で、ブラウザから、各アカウントを用いてログインする。Classroom サイトを開き、クラスを選ぶ。 Google ログインサイト Google Classroom サイト Classroom の起動とクラスの作成 (0:42~1:26)
3 ストリームを用いた休校等の連絡【教師】	10分	・動画を参考に、ストリームに連絡を作成し、投稿する。 児童生徒、保護者への連絡・案内の送付 (4:12~5:07)
4 クラスを切り替えて、ストリームを確認する【児童生徒】	5分	・左上「メインメニュー」から「クラス」を選び、表示するクラスを児童生徒で参加しているクラスに変更する。 ・参加したクラスのストリームを確認する。 児童生徒、保護者への連絡・案内の送付 (6:32~7:12)
5 ストリームを用いた学級通信等の配布【教師】	10分	・左上「メインメニュー」から「クラス」を選び、表示するクラスを教師で参加しているクラスに変更する。 ・動画を参考に、ストリームに連絡を作成し、学級通信を添付して投稿する。 児童生徒、保護者への連絡・案内の送付 (4:12~5:07) (進行例4と同じ動画のため、動画視聴は省略可)
6 クラスを切り替えて、ストリームを確認する【児童生徒】	5分	・左上「メインメニュー」から「クラス」を選び、表示するクラスを児童生徒で参加しているクラスに変更する。 ・参加したクラスのストリームを確認する。また、添付された学級通信を表示させて内容を確認する。 児童生徒、保護者への連絡・案内の送付 (6:32~7:12) (進行例4と同じ動画のため、動画視聴は省略可)
7 グループでの振り返り	5分	・グループで研修を振り返り、Google Classroom のクラスのストリームを用いた連絡どのように生かすのか等を交流する。